市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議会報

NO. 14
平成19年
(2007)

環境ひらかた

7月号

バスで枚方を満喫！山田池で環境学習

バスマップ第４弾完成記念イベント開催

ひらかた環境ネットワーク会議公共交通部会は 6 月 3 日（日）、くずは・男山バスタウンマップ「第 4 弾ぶらりバスの旅　春・夏編」の完成を記念して「バス！のってスタンプラリー 日置天だんじりと山田池の旅」を開催しました。

事前に募集した京阪樟葉駅からの参加者 130 名、山田池公園での参加者 130 名、子どもから大人まで合計 260 名の参加者が、バスに乗りながら、また各スタンプポイントで、環境問題を意識した時間を共有しました。

（2 ページに関連記事）

目　次

ﾊﾞｽﾏｯﾌﾟ完成記念ｲﾍﾞﾝﾄ開催	2
理事会および総会の報告	3
各部会＆運営委員会の活動	4
平成 19 年度講座案内	6
お知らせコーナー	7
団体紹介 （マイライフ新聞社）	8

第4弾 ぶらりバスの旅 春・夏編 ～くずは・男山バスタウンマップ完成記念イベントパート3～

「日置天だんじりと山田池の旅」枚方にだんじりを発見！

マイカーから公共交通への転換と、まちの再発見を促す、公共交通部会のプロジェクトの一環として、今回は日置天神社と山田池公園を巡るバスの旅を開催しました。

くずはからスタート

6月3日（日）、午前9時30分より受付を開始、参加者にサイコロを振ってもらい、公園など6ヶ所あるコースのうち最初の行き先（第1スタンプポイント）が決められました。午前10時、松村暢彦大阪大学准教授による「まちとバスのお話」からイベントが始まり、続いてゲームの説明、午前10時30分頃からバスに乗って、それぞれ目的地へスタートしました。

日置天神社のだんじりを見学

日置天神社でだんじりを見学する参加者達

第2スタンプポイントである、日置天神社（招提南町）では、神社のご協力により、8基あるだんじりをすべて特別公開していただき、また氏子役員の中尾さんよりだんじりの経過などについて説明をしていただきました。

山田池公園では12のスタンプポイント

山田池公園では市民団体などの協力を得て、12のスタンプポイントを公園内各所に設けました。

内　容	担　当
交通双六	大阪大学松村暢彦准教授
園内案内	ｼﾆｱ自然大学 淀川自然ｸﾗﾌﾞ
自然工作	ｼﾆｱ自然大学 淀川自然ｸﾗﾌﾞ
押し花葉書作り	ロイヤルフラワー教室
自転車発電	NW環境教育サポート部会
風呂敷教室 環境語り部	NW環境教育サポート部会
環境パネル展示	枚方市環境総務課
公園紹介パネル展示	大阪府枚方土木事務所
ひらかた市民共同発電所ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ展示	NW ひらかた市民共同発電所プロジェクトチーム
効き水と水の配布・パネル展示	枚方市「チームアクア」
ロープワーク	日本ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ枚方11団
顕微鏡で池の水を見てみよう	NW自然環境部会

くずはからの参加者は午後3時に再集合し、スタンプを集めたスタンプシートを手にビンゴゲームに参加しました。恒例となったこのイベントに、参加者からは「次のイベントはいつ？」という声が多く聞かれ、バスタウンマップが地域に定着してきたことを実感できるものとなりました。

◆アンケート結果　－山田池公園での環境学習が好評－◆

山田池公園のスタンプポイントで最も人気があったのは「自然工作」、次に「自転車発電」と、公共交通の大切さをPRした「交通双六」でした。また、「バス！のってスタンプラリーが面白かった」と回答した人が85%、「これからもバスに乗ってみようと思った」が80%でした。「山田池公園では環境について様々なことを学べて良かった」という声もいただきました。

交通双六

自然工作

自転車発電

再集合してビンゴゲーム

H19年度

通常総会を開催 ～環境ラウンドテーブル同時開催～
事業報告案および事業計画案など承認

平成19年度通常総会を5月20日（日）、ラポールひらかた4階大研修室で開催しました。

定刻の午後2時に開会、会員数165名、出席者106名（委任状・議決権行使書出席含む）により、定足数を満たしていることが確認され、総会が成立しました。

その後、議長に石原了さんを選出し、議長の進行により、第1号議案「平成18年度事業報告案及び決算報告案の承認の件」、第2号議案「平成19年度事業計画案及び予算案の承認の件」、第3号議案「理事の選任の件」、第4号議案「審議事項追加の件」、第5号議案「長島信一理事の選任の件」を審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決されました。

新たに選任された理事：奥善雄（関西電力㈱枚方営業所所長）、河瀬隆（大阪ガス㈱北東部地区支配人）、長島信一（(特活)ひらかた市民活動支援センター理事長）、廣田武司（市民）

ラウンドテーブルに参加者はドキドキ

午後3時より、環境ラウンドテーブル「とことんいってみよう会」～私たちに出来ること、環境ネットワークに望むこと～を開催しました。

コーディネーターの岩木啓子さん

コーディネーターに岩木啓子さん（ライフデザイン研究所FLAP代表）をお迎えして、約1時間半、4人ごとのグループに分かれて実施しました。課題に対して、各人様々な意見があり、それを全員で改めて認識することができ、有意義な時間となりました。さらに、ラウンドテーブルを初めて経験された方が多く、その手法が大変勉強になったという感想を多くいただきました。

グループ内で発表した意見を全員へ伝える参加者

H19年度 第1回理事会を開催 運営委員任命など

理事会に出席した理事・監事

平成19年度第1回理事会を4月27日（金）午前11時から開催しました。

理事数15名、出席者14名（委任状出席含む）により、定足数を満たしていることが確認され、理事会が成立しました。その後、谷﨑利男理事長を議長とし、議事に入りました。第1号議案「理事の辞任に関する件」、第2号議案「理事の選任に関する件」、第3号議案「運営委員任命の件」、第4号議案「事務局職員給与承認の件」、第5号議案「事務局職員賞与基礎支給率承認の件」、第6号議案「取引金融機関承認の件」、第7号議案「平成18年度事業報告書(案)承認の件」、第8号議案「平成18年度収支決算報告書(案)承認の件」、第9号議案「平成19年度事業計画書(案)承認の件」、第10号議案「平成19年度収支予算書(案)承認の件」すべての案件が、原案どおり承認可決されました。

運営委員（11名）：石川聡子、石原了、鎌田徹、桜井正昭、末岡妙子、谷﨑利男、冨田藹、中村正紀、新島健士、廣田武司、丸井晶子

●各部会の活動

自然環境部会

環境保全と地産地消、そして食育

表題の 3 つの事柄はいずれも社会的な大きな関心ごとであり、取り組むべき問題でもあります。環境保全における農地の有用性を考えると、市内に残された農地をどう保全していくかが大きな問題となってきます。保全の一つとして、市内で取れた農産物を市内で消費する地産地消を進めることで、農地（環境）の保全に繋がっていくと考えます。フードマイレージや食育の視点からも地産地消が進むことを願っています。自然環境部会でも、部会活動の一つとして地産地消プロジェクトに参加し、啓発活動として地場野菜の即売活動も行なっています。ご協力いただける方はいらっしゃいませんか？（詳しくはホームページをご覧いただくか事務局まで）

ごみ・エネルギー部会

第 3 期 自然エネルギー学校　第 1 回講座は公開講座

★**ひらかた自然ｴﾈﾙｷﾞｰ学校(RESH)2007 運営 WG**：3 年目を迎える RESH2007 が第 1、2 期と同様充実した内容となるよう、準備・検討を重ねています。第 1 回講座は、「地球温暖化の現状とこれから－なぜ自然エネルギーか－」をテーマとして立命館大学和田武教授に、また、「枚方市の取り組み」を枚方市環境総務課にお話いただきます。なお、この第 1 回講座（9 月 8 日午後）は、多くの市民に参加いただけるよう公開講座とします。受講および協賛の問合せ・申込みは事務局へどうぞ。

★**生ごみ資源化 WG**：地産地消プロジェクトで「生ごみのたい肥化」を担当。自然農法に供するたい肥の一つとして、焼却ごみの減量化にもつながる生ごみのたい肥化を関係先と協議・検討しています。また、ホース・フレンズ枚方セラピー牧場の馬糞たい肥化にも協力しています。

★**雨水モニターWG**：雨水利用の市内での啓蒙・普及活動をしています。雨水タンクの設置や雨水利用についてのお問合せは事務局へお寄せ下さい。

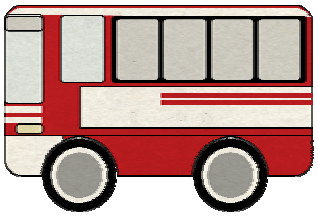
公共交通部会

市政 60 周年記念事業に向けて始動！

★**レンタサイクル**：昨年 11 月から始めた牧野駅におけるレンタサイクル試行は、利用者も順調に増えています。本格実施に向け、試行の延長を検討しています。

★**バスタウンマップ**：本年 3 月に第 4 弾「ぶらりバスの旅 春・夏編」を作成し、くずは・男山地域に配布。6 月 3 日（日）には完成お披露目イベント「日置天だんじりと山田池の旅」を開催しました(別掲)。

★**市政 60 周年記念事業「枚方バースデー」**：市と協働して、「公共交通を活性化して枚方市を元気にするためのワークショップ」を 7 月 21 日に開催します。また、「公共交通で巡る枚方八景すごろくマップ」作製（10 月）、「公共交通で巡る枚方八景イベント」（11 月）を開催予定。



まちづくり部会

「ブラックイルミネーション 2007 in ひらかた」

★今年もまちづくり部会を中心に、CO_2削減のためライトダウンキャンペーンを 6 月 22 日（金・夏至の日）～24 日（日）まで実施しました。メインイベントである「ブラックイルミネーション 2007 in ひらかた」では、夜 8 時から 10 時の 2 時間、ひらかたパーク大観覧車のイルミネーションを始め、ライトアップ施設の照明を消していただくよう、省エネルギーを広く市民に呼びかけました。

★『きらりひらかた市民会議』に参加を申し込み、「魅力あふれる生き生きとしたまち」をテーマに活動を開始しました。活動内容・方向は、「1. 緑豊かな潤いのあるまちをつくる」「2. 地域の自然・歴史的文化的遺産の活用」「3. 景観づくり市民会議の立ち上げと地域コミュニティとの連携」です。興味のある方、活動したい方は、ぜひご参加ください。

環境教育サポート部会

第 3 期 ひらかた環境くらわんか塾　開催予定

今年も「ひらかた環境くらわんか塾」を開催します。昨年は、実際に S-EMS（学校版環境マネジメントシステム）の審査も体験していただきました。昨年の受講生の方からお声を頂いているので紹介させて頂きます。「環境保全活動を行っていますと、企業サイドでの一方的な環境保全活動（企業にとって都合のいいような活動）となりがちです。本当に、地域の環境のことを考えているならば、もっと地域（枚方市全体）に係り、お手伝いできることがあるはずではないかと思って受講しました。講座については、戸惑うことはありませんでしたし、S-EMS 実習の際の審査帳票もわかりやすくまとめてありました。」（枚方市内 OA 機器製造工場の環境保全担当者）

運営委員会

運営委員に新メンバー

還暦を過ぎて 4 年になりました。桜井正昭（さくらい・まさあき）です。昨年春より、会社の勤務日数も週 1 日になり、会社や社会から育てていただいた経験や知識で何かお役に立てることはないかと思っていました。また、環境問題や自然災害に興味を持っており、その関係の人々との出会いを積極的に求めておりました。折り良く“ ひらかた環境ネットワーク会議 ”を紹介いただき昨年の春に入会し、ごみ･エネルギー部会の第 2 期自然エネルギー学校を今春卒業しました。現在はごみ・エネルギー部会とひらかた市民共同発電所プロジェクトで活動をしています。

プロジェクトでは枚方市民をはじめ他の市町村からの多数のご支援、発電所設置保育園の園児さんや関係者の盛り上がりを肌で感じるなど、活動に参加して良かったと思っております。

運営委員としては、会社生活を経理一筋できましたので、主に事務局の経理に少しでもお役に立てればと考えております。NPO の発展に向けて頑張りますので、よろしくお願いいたします。

平成 19 年度　秋の開講講座のご案内

ひらかた自然エネルギー学校 2007 第 3 期受講生募集

「体験、創造、実践」をキーワードに、ワークショップや見学を取り入れた充実のプログラム。ともに第一歩を踏み出しましょう！

校期：平成 19 年 9 月～平成 20 年 2 月　全 7 回
（第 2 または第 3 土曜日）
時間：午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
（第 3 回のみ午前 10 時～午後 4 時 30 分）
会場：メセナひらかた会館 4 階研修室
内容：太陽光、風力、小水力、雨水、ﾊﾞｲｵﾏｽ等の自然エネルギー利用と普及の方法について学び、家庭や地域での実践を考える
募集人数：30 名
受 講 料：一般 1 万円、会員 9 千円（全 7 回分、教材費等）　単講座受講可
主催：NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

ひらかた環境くらわんか塾 2007 第 3 期受講生募集

環境教育サポーターになって学校版 EMS の審査に同行しましょう！

校期：平成 19 年 9 月～平成 20 年 2 月　全 8 回
時間：午前 10 時～午後 12 時
（第 4 回のみ午前 10 時～午後 4 時）
会場：メセナひらかた会館 5 階職業講習室
（京阪枚方市駅北口より徒歩 5 分）他
内容：“S-EMS による環境教育活動”をサポートする「環境教育サポーター」の育成
募集人数：30 名
受 講 料：2 千円（全 8 回分、教材費等）
そ の 他：終了生には「環境教育サポーター証」を発行。S-EMS 審査に同行し、環境教育活動をサポートすることが期待される
主催：NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

ひらかた地産地消プロジェクト

★ひらかた自然農法塾：(財)自然農法国際研究開発センターと穂谷地区で、農業を家業としている当会会員の上武さんの協力を得て、無農薬有機農法の可能性を研究しています。独自に有機農法を目指しているメンバーも参加し、実際に作物を育てながら有機農法の研究を続け 1 年になります。啓蒙チームの協力を得て、自然農法で栽培した上武さんの野菜の頒布会を、いろいろなイベントで行い、この活動を市民に知っていただけるよう努力しています。

★生ごみのたい肥化：ごみ・エネルギー部会が中心となり、NPO 法人エコ・スマイルひらかたの協力を得て、枚方市が進めている学校給食残さのたい肥化実験や、家庭生ごみのたい肥化推進を研究中。

★自然栽培野菜の販売：5 月、枚方市駅に NPO 法人ホース・フレンズ事務局の事業としてホースセラピー牧場がオープン。その会場で自然栽培野菜の頒布を行っています。合わせて馬糞のたい肥化の研究も行っていきます。

無農薬有機栽培技術を学びたい方、自然農法塾生の野菜に興味ある方は、事務局までご連絡ください。

自然栽培野菜の販売

場所：ホース・フレンズ枚方セラピー牧場横（京阪電車「枚方市駅」北口より徒歩 5 分）
日時：毎週土曜日　午前 10 時～（完売次第修了）

イベント＆募集 お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
☎072・847・2286

☆ ライトダウンキャンペーン 2007 ☆
ご協力ありがとうございました！

6 月 24 日（日）の「ブラックイルミネーション 2007」（一斉消灯）は、市内多くのご家庭、事業者、施設の参加・協力をいただきました。ありがとうございました !!

★参加・協力いただいた事業者・施設は、「環境ひらかた 10 月号」に掲載させていただきます。

★「ライトダウン川柳」の応募締切は 7 月 20 日（金）必着です。ご応募お待ちしています！

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、ＮＰＯ）、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・ＦＡＸ、Ｅメールで、事務局までお申込みください。

「環境のへぇ～」 Vol.12

『 バイオマスの将来性 』

環境情報誌で、日本のバイオマス分布、現在の実現度、持続可能性などが整理されています。

日本のバイオマスの分布は以下の通り。

- 木質系 ‥‥ 33%　・食品廃棄物 ‥ 22%
- 製紙系 ‥‥ 19%　・家畜糞尿 ‥‥ 14%
- 農業残さ ‥ 6%　・下水汚泥 ‥‥ 6%

木質系が多いのが特徴。

◆現在の実現度が高く、持続可能性も高い技術
- 廃天ぷら油からのバイオディーゼル
- 食品加工廃棄物からのバイオガス
- 下水汚泥からのバイオガス　など

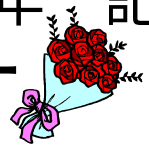
◆現在の実現度が低くても、持続可能性が高く、将来有望と考えられる技術
- 間伐材・端材を利用したバイオマス発電
- 木質ペレットや薪の熱源としての利用
- 家畜糞尿からのバイオガス

◆持続可能性が低い技術
- インドネシア、マレーシアからのバイオディーゼル燃料の輸入など

輸送時の石油資源の使用など、トータル収支も考えて、日本のバイオマス資源を上手く活用していきたいものです。

＜３０秒で読む環境情報！＞

市政 60 周年 記念事業
枚方バースデーワークショップ



公共交通や地域情報を紹介するバスマップを作成し、その完成記念に実施する「お披露目イベント」について、アイディアを出し合います。

「こんな情報があったら面白そう便利だろう」など、皆さんのご提案をお待ちしています。

一緒に枚方のバスマップを作りましょう！ぜひご参加ください。

日　時：7 月 21 日（土）　午後 2 時～午後 4 時
場　所：枚方市 市民会館第 1 集会室
定　員：40 名
申込み：7 月 2 日（月）午前 9 時から電話、Ｅメールにて受付
問合せ：NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議
TEL　072-847-2286
E-mail　jimukyoku@hirakata-kankyou.net

会員数 203 名：正会員　171 名（個人 143、非営利団体 19、営利団体 9）
賛助会員 32 名（個人　32、非営利団体　0、営利団体 0）　※平成 19 年 6 月 30 日現在

団体紹介コーナー

マイライフ新聞社

昭和 59 年 1 月創刊
（枚方・交野を中心に月 2 回 15 万部を発行）
従業員：8 名　　代表：外村　淳
http://www.mylife-np.com/

地域の身近な情報と共に 環境保護の大切さも発信していきたい！

代表　外村　淳氏

創刊以来 24 年を迎える読売新聞系の地域情報紙「マイライフ新聞」は、毎月 1 日・15 日の月 2 回 15 万部ずつを発行しています。安心・安全・信頼をモットーに、環境・教育・医療に特に重点を置いた紙面作りを進めており、2002 年 3 月にはマイライフ新聞社社員を含む有志と「枚方・交野地球村」、枚方市の主催で、高木善之さん（ネットワーク・地球村代表）を迎えての地球環境講演会を枚方市民会館大ホールで開催するなど、環境問題に関して積極的に取り組んでいます。

また、ひらかた環境ネットワーク会議主催で昨年 3 月に開催された「バス！のってスタンプラリー」や、今年 6 月の「バス！のってスタンプラリー 日置天だんじりと山田池の旅」（6 月 15 日号で 1 面掲載）への同行取材をはじめ、牧野駅から自転車を活用して町中を走る企画など、地域におけるさまざまなイベントを取材・掲載することで市民に環境保護の啓発を継続しています。

これからもマイライフは地域に密着したメディアとして、市民の皆様に環境に対するさまざまな情報・取り組みを取材・発信し、市民一人ひとりが無理なく取り組める環境問題改善の提案を分かりやすく広報していきたいと考えています。

編集後記

「節電を 未来のために がんばるぞ」。これは昨年募集したライトダウン川柳の最優秀作品です。環境に対する将来への不安とその解決のために何かできないかという小学生の素直な気持ちが伝わってきます。環境問題の解決には、市民一人ひとりが意識を持つことが大切です。「がんばろう」と気張る必要はありませんが、気が付いた時にほんのちょっと行動を起こすことができればと思います。今年も 6 月 24 日にライトダウンキャンペーンを実施しました。環境問題を考える第一歩、ほんのちょっとの行動のきっかけになればうれしいです。　（鍛治谷　記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第 14 号

平成 19 年 7 月 1 日発行（年 4 回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電　話　072-847-2286
ＦＡＸ　072-847-2286
Ｅメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ http://www.hirakata-kankyou.net
発行責任者：谷﨑 利男
編集責任者：廣田 武司

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。